

「バラ祭り」つづきその2

~~~バラがいっぱい！ 人もいっぱい！ 車も渋滞！~~~

本日、何故？ そんなにバラが売れているのか？ 偵察に寄ってみました。  
すると、さすがに京成バラ園と言っているだけあって、  
バラの種類が数十種類のあり、つい欲しくなりますね。  
特に女性や老人が多く、本を片手に学者みたいに調べているマニアも多いこと。  
他には、ガーデニングや肥料などが山積み。

繁盛している理由が何となくわかります。  
バラという「選択と集中」の戦略がまんまと当たってます。  
もう一つは、駐車場に入るのに渋滞していて並んでいるんですね。  
ここがヒントです。  
せっかく時間が掛かって来たんだから・・・  
並んで待っていたんだから・・・  
という買う理由が明確です。

そして、毎年恒例で来ている人たちが多い。  
いろいろな種類のバラがあり、カメラ持参で・・・  
毎年、種類を増やしたくなりますね。

経営のヒントとして観察すると・・・  
バラという強い商品力がある。  
一年に一度のお祭り気分。  
実際に見事に咲いているから、自分でも栽培できる気がする。  
わざわざ訪問したという理由が明確。  
多くの人たちが買っているのを見て、自分も欲しくなる。  
マニアやオタクがいる。

<コメント>

商売繁盛には、繁盛する理由がある。  
表面上を見るのではなく、本質をいかに観る（察）のか？ が、一番重要。  
そのためには、何故だろう？  
と疑問に感じる力が必要。  
そして、あくなき好奇心！

生意気を言ってすみません。  
皆さん。繁盛しているものを見たり、聞いたりしたら、  
是非とも、一度、自分の目で見て、感じてください。  
「百聞は一見に如かず！ 百見は一験に如かず！」